

# 旺盛な『企業の採用意欲』

## 来春は3割増の採用計画

### 【調査概要】

- 調査対象／就職ガイダンスの出席企業、ふくいジョブカフェ・パートナー登録企業550社
- 調査方法／郵送による調査票の送付、FAXによる回収
- 調査時期／平成19年4月17日～24日
- 回答率／180件（32・7％）

### 【回答企業の属性】

- 業種／製造業33・7％、建設業17・1％、卸売業10・9％、小売業8・0％、サービス業18・3％、その他12・0％
- 従業員数／20人以下15・2％、21～50人33・7％、51～100人22・5％、101～300人22・5％、301人超6・1％

### 来春は対前年度比31%の増

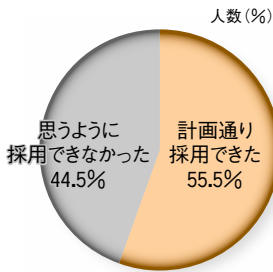
回答企業の76・7％が来春の採用について予定している。採用人員については、対前年度比31％のアップで、企業側の旺盛な採用意欲が表れている。

なお、業種的には、製造及びサービス業が対前年度比3割近い採用増、建設については7割、小売業は5割を超える大幅増となっている。

### 今春の採用結果は 数的には予定通り

今春の採用結果について『数』と『質』の両面から回答を求めた。数としては半数強の企業が『計画通り採用できた』と回答（図1）、質としては『どちらとも言えない』との回答が多数を占めた。なお、技術系の人材が採用できなかった等の意見が寄せられた。

図1 今春(平成19年春)の採用結果



### 応募者減少が35・2%

今春の採用応募者数については、『変

わらない』44・4％、『減っている』35・2％、『増えている』は16％となっており、採用競争の激しさを裏付ける数値となった。

これに対して企業の来春の採用数は、『変わらない』が64・5％を占めるものの、『拡大する』との回答結果が24・7％あり、更に厳しい採用競争が見込まれる。

### 企業への応募は 『就職サイト』が主流

応募者の企業へのアプローチの方法は、『就職サイトを経由して』が最も多く56・1％で、応募方法の主流を占めている。かつて主流であった『電話やFAX』からの応募は22・6％に止まった。

### 早まる採用時期

旺盛な採用状況を反映して、来春の採用時期を『早めた』と答えた企業が31・7％あった。『変わらない』と回答した企業が約半数を占めているが、人材獲得のために例年よりも早めの対応を検討している企業も多いようである。

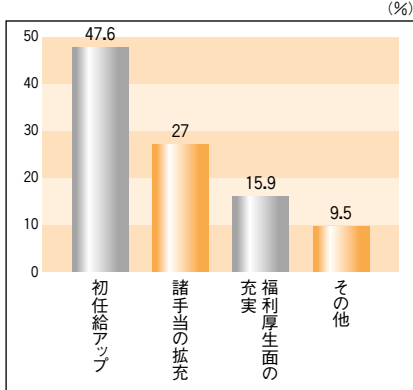
なお『早めた』と回答した企業に、早めた期間について回答を求めたと

### 来春に向けた企業の対応

ころ、最も多かったのが『1ヵ月間』で61・5％、次いで『1～2週間』17・4％、『2ヶ月間』11・5％と続いている。

企業が行う採用募集活動については、7割の会社で『企業合同説明会』に参加しており、『学校への訪問』も6割近い企業で実施されている。また、4社に1社が、ホームページや、企業案内パンフレットの充実をあげた。また、『待遇条件の検討』については約35％の企業で実施を予定しており、そのうちの2社に1社が『初任給アップ』を検討している（図2）。

図2 検討する待遇条件の内容



※詳細な調査結果資料を

ご希望の方は経営支援課まで

TEL0776(33)8283